（別紙4（2））

事業所名　ニングルの森　北白川

作成日：　平成　23年　5月　18日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	（1）	法人共通理念はあるが、事業所独自の理念が設定されていない。	1年に1回、事業所としての理念及び目標を掲げ、事業所内で周知を図る	事業所内の職員同士で話し合い、事業所の理念及び目標を決めていく。	1ヶ月
2	（12）	事業所としての看取りの指針はあるが、実際に事業所として看取りを経験することが出来、その経験の中で、改善する項目が見えてきた。	事業所として看取り介護の経験を活かし、看取りの指針の充実化を図る。	定期的に看護師、介護職員、計画作成担当者が話し合い、現状の看取りの指針の改善が必要と思われる項目を挙げていき、再作成を行う。	3ヶ月
3	（2）	事業所と地域とのつきあいについて、もっと事業所の資源を生かした活動ができるが、不十分であり、強化していきたい内容である。	事業所の資源及び知識等を活かして、地域に対して認知される活動を実施する。	町内会と連携を図り、地域のニーズの把握及びその中で事業所として何が出来るかを検討して、出来ることから実施していく。	12ヶ月
4	（17）	利用者の方の入浴について、日程が決まっており、夜間及び毎日の入浴が実現できていない。	利用者の希望を伺い、可能な限り希望に沿って、入浴できるようにする。	利用者の希望を伺い、把握していく。併せて、職員体制などを検討し、なるべく希望に沿った入浴ができるよう検討していく。	6ヶ月
5	（5）	1階センサーについて、行動の監視に繋がりかねないため、検討が必要になった。	行動の監視に繋がらないような工夫を実施する。	行動の監視に繋がらないような工夫を職員同士で話し合い、検討していく	6ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。